

支援の輪が広がっています!!

【東急リバブル社員がフードバンク仙台様へ提供の様子】



【一般のお客様からご提供を頂いた食糧】



今月も東急リバブルの社員が皆様からご提供を頂いた食糧をフードバンク仙台様へお渡しを致しました。お渡しの際、一般の方々からの支援食糧も増えている様です。また、徐々にではありますが東急リバブルの支援活動の認知が広まってきており、外部からの東急リバブルの各センターへの食料のご提供も増えており、**12月は外部から173個ものご提供**を頂きました。営業活動中にお客様宅へ訪問の際に当社の支援事業の取組をご説明し、お客様よりご賛同を頂き、その場でご自宅に余っている食糧のご提供を頂きました（仙台東口センター、担当日下さん）今後も皆様で活動の輪を広げていきましょう。

フードバンク仙台様から食糧のご提供を頂いた方々からのお礼のお言葉

- 1、玄関前の段ボールをみて感動し、中身をみて涙しました。頑張れ！大丈夫だよ！と言われているみたいで嬉しかったです。本当にありがとうございます。
- 2、皆様からかかぬ温かい関心と愛が本当に幸せです。3歳の娘が保育所から帰って来て沢山のお菓子を見たら大喜びしました。フードバンクのお兄さん、お姉さん、おじさんとおばさん達からくれたよと教えたら、本人が興奮して「ありがとう ありがとう」って何回もいってくれました。皆様の暖かい行動で本当に感動しておりました。ありがとうございました。

ご提供を頂いた食糧は、責任を持って東急リバブルがフードバンク仙台様へお届けします！

今回ご支援頂きました皆様

- ☆外部のお客様
- ☆東急リバブル社員
- ☆東急グループ各社

多くのご支援有難うございます！
これからもご支援をお願い致します

2021年度上半期に直接相談を受けて食糧支援を行ったのべ1,327世帯、のべ3,211名から見てくる生活困窮の実態は次の通りです。食料支援の依頼者の業種は飲食業、建設業、宿泊業、その他サービス業などが多くなっています。雇用形態は非正規雇用が80%を占めています。世帯構成はひとり親世帯からの依頼が21%。国籍で見ると、外国人・留学生の比率が36%でした。今後も私たちは、経済的な困窮から食料を十分に得ることができない人々に対し、国籍や年齢や性別や障害の有無等にかかわらず普遍的に食料を提供することで、誰も差別せず排除しない助け合いのネットワークを広げていきます。

まだまだ多くの支援が必要です！
皆様ご協力ください！

※上記内容はフードバンク仙台様HPより引用

SDGsとフードドライブ



「モットイナイ」食糧を提供することで「食品ロスの削減」及び「食品を必要とされる方々の支援」等の5つのSDGsの目標へ貢献しています。

ご支援いただく食糧の提供方法

☆収集日

毎月第2木曜日～日曜日

☆収集場所

最寄の東急リバブル各店舗

☆提供いただく食糧について

賞味期限1ヶ月前までのもの

※生鮮食品・酒類は除きます。



12月は皆様から392個の食糧のご支援を頂きました！